

<b>Course number</b>	U-LAS30 20013 LJ11				
<b>Course title (and course title in English)</b>	情報ネットワーク Information Network		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>	Institute for Information Management and Communication Professor, NAKAMURA MOTONORI	
<b>Group</b>	Informatics		<b>Field(Classification)</b>	(Issues)	
<b>Language of instruction</b>	Japanese		<b>Old group</b>	Group B	<b>Number of credits</b> 2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Lecture (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b> 2025・First semester
<b>Days and periods</b>	Mon.1	<b>Target year</b>	All students		<b>Eligible students</b> For all majors
<b>[Overview and purpose of the course]</b>					
<p>情報収集、友人とのコミュニケーション、ネットショッピングなど、インターネットの利用はごく日常的なことであり、その利便性は言うまでもない。誰もが自由に利用できるようになってから30年近く経ち、その仕組みを理解していなくても手軽に利用できる時代となったが、仕組みを正しく理解できていなければ使いこなせないだけでなく、トラブルに巻き込まれて被害者になったり、気づかないうちに加害者になってしまうこともありうる。</p> <p>本科目では、インターネットを構成する様々な技術やサービスの仕組み、ネットワークを安全かつ効果的に利用するための情報技術や情報セキュリティ、さらには情報ネットワーク社会のルールについて理解することで、インターネットをなんとなく利用するレベルから脱却し、大学生活のみならず社会人になってからもインターネットをより適切かつ効果的に利用し、また起こりうる問題を回避する、あるいは問題を的確に解決するための素養を身につけることを目的とする。</p>					
<b>[Course objectives]</b>					
<p>インターネットを実現している通信の仕組み（要素技術とその基本的な考え方）、その上で提供されている各種サービスの仕組み、情報セキュリティに関わる問題と対策、さらに著作権、個人情報保護、その他法律など情報ネットワーク社会のルールを理解する。情報ネットワーク技術を安全かつ効果的に活用するための知識を身につけることで、これからの技術や社会の発展に継続的にキャッチアップできるようになることを目指す。</p>					
<b>[Course schedule and contents]</b>					
<p>この授業で予定している内容は、おおよそ次の通りである。 (授業の進行状況などを考慮して予定を変更する場合もある。)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション、情報社会とインターネットの概要</li> <li>2. インターネットの歴史とネットワークサービス、プラットフォーム事例</li> <li>3. ネットワークアーキテクチャ（パケット交換と階層モデル）、IPアドレスとDNS</li> <li>4. Webサービスや検索エンジンの仕組み・メールの仕組み</li> <li>5. 情報伝達の基礎とマルチメディア通信</li> <li>6. 「インターネット」の基礎となるIPアドレス</li> <li>7. 世界規模の「インターネット」を実現する経路制御の仕組み</li> <li>8. ネットワークの基本としてのLAN（ローカルエリアネットワーク）</li> <li>9. 有線通信や無線通信の性質、誤り制御とアクセス制御</li> <li>10. TCP/IPによる確実かつ高速な通信の実現</li> <li>11. ネットワークの多重化、仮想化、高速化</li> </ol>					
Continue to 情報ネットワーク(2)					

## 情報ネットワーク(2)

- 12. 暗号と認証
- 13. 情報セキュリティ
- 14. 情報ネットワークと法律

### [Course requirements]

情報基礎[全学向]とあわせての受講を推奨する。

### [Evaluation methods and policy]

- ・ 出席確認を兼ねた毎回のレポート（2割程度）
- ・ 期間中4回程度の演習課題（3割程度）
- ・ 定期試験またはレポート試験（5割程度）

### [Textbooks]

Not used

毎回の授業で配付する資料を利用する。

### [References, etc.]

（References, etc.）

白鳥則郎編 『情報ネットワーク』（共立出版）ISBN:978-4-320-12303-8（未来をつなぐデジタルシリーズ）

### [Study outside of class (preparation and review)]

- ・ 授業中に参考文献として挙げた資料を中心に、予め目を通して考察しておくことで、講義内容の理解を深められるようにしておくことが望ましい
- ・ 授業後には理解度を確認するために、授業中にコンピュータを操作して例示したことを、自宅などで追証しておくことを推奨する

### [Other information (office hours, etc.)]

- ・ コンピュータに関する予備知識や利用のスキルなどは特に求めない
- ・ 本講義で予定しているトピックに関連して、下記の情報セキュリティに関するe-learning講義を受講すること（このe-learningの受講は京都大学の全構成員に対して毎年の受講が求められているものである）

<https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/ja/services/ismo/e-Learning/>

- ・ オフィスアワーは特に設けないが、質問等があれば随時メール等で受け付ける